

名古屋市立大学大学院経済学研究科「早期修了プログラム」外部評価の総評

当該プログラムは、6年前からスタートし入学者は今年度が2度目で、通算して4人目のことであるが、高度な専門性を備えた人材を養成するという意味では学术界への貢献度は非常に高いと思われる。本プログラムは、早期に修了するユニークかつ有益なプログラムであり、また、その教育内容も主指導教員と副指導教員が論文指導を並行して行うという研究指導体制がとられている。しかも履修者の個々のテーマについてマン・ツー・マンで教授するという方法が採用されており、早期修了のために密度の濃い指導体制が適切に機能している。

1年間での修了ということで、講義単位を限定して、主指導教員から博士論文の完成に特化した指導が行われており、その意味で本プログラムに沿った履修指導が行われているという印象を受けた。本プログラムの趣旨からして、学力達成度の評価と論文審査の厳格な基準の適用は今後とも遵守して行ってほしい。一方、今後、本プログラムを良くするために、履修審査資格や学力達成度評価の判定にかかわる点など外部評価などの結果に基づいて、問題を精査し、改善して行ってほしい。

全体として、当該プログラムは社会的重要度が高く、学生には不足した論点を補うような指導・アドバイスが行われ、総合的に適切かつ優れたプログラムとして運用されていると評価できる。

外部評価委員主査

星野 優太

平成 31 年 2 月 12 日